

令和2年3月12日

静岡県新型コロナウイルス感染症対策本部 本部長
静岡県知事 川勝 平太 様

ふじのくに県民クラブ
会 長 阿部 卓也
新型コロナウイルス緊急対策委員会
委員長 林 芳久仁

新型コロナウイルス感染症対策に関する緊急要望（その2）

ふじのくに県民クラブは本件に関しこれまで3回の要望書を提出しました。しかしまだ感染拡大は続いており、WHOは昨日「パンデミック」を宣言しました。本県としても一層の対応強化が求められます。

こうした中、県議会では今週行われた常任委員会で集中審査を行うなど積極的に議論を進めてきました。これらの議論やさまざまな情報から必要と思われる対策について下記のとおり要望します。早急な対応をお願いいたします。

記

1. 対策本部機能の強化

- ・県全体の新型コロナウイルス感染症対策を担うコントロールタワーとしての機能を発揮していただきたい。特に医療福祉分野と産業雇用政策は現場の声をしっかりと把握し、速やかに対応するよう取り組むこと。
- ・県庁における部局横断的な施策は危機管理部が主体的にコーディネートし具体的な対応を講じること。
- ・感染症の専門家による委員会を早期に設置し、専門的知見を県施策に反映すること。
- ・情報発信機能を強化すること。特に報道機関等の協力を得て定例的な情報発信を行うこと。特にWHO報告書などをもとに、正しい情報を提供し、過度に恐れることのないよう発信すること。

2. 感染拡大防止対策

- ・マスクや消毒用アルコール、防護服など必要な資器材を確保し、不足している施設がある場合、速やかに対応すること。
- ・慢性疾患の受診者への感染拡大を防止するためオンライン診療、処方、服薬指導などの対応を検討すること。

3. クラスター感染およびパンデミックへの備え

- ・感染症患者を受け入れている感染症指定医療機関の状況を把握し、治療情報や疑似症状との見分け方など、受け入れに際しての参考情報を共有できるプラットフォームを作ること。
- ・厚生労働省が公表した最悪シナリオに備え、感染者の入院病床の確保とゾーニングなどのあり方について検討し、医療提供体制を準備すること。

4. 経済対策の強化

- ・県内事業者への事業への影響を的確に把握すること。特に中小事業者の資金需要に対し制度融資などを活用しスピーディに対応すること。
- ・雇用への影響を回避するため雇用調整助成金制度の活用を進めること。
- ・サプライチェーンの影響で生産に影響が出ている事業者と県内企業のマッチング支援を進めること。
- ・テレワーク・リモートワークなど新たな働き方に関する支援を検討すること。

以上